

(仮称) 余市循環線試験運行

実態調査結果（カウント調査結果・アンケート調査結果）・改善事項の整理

目次

1. カウント調査結果	1
2. アンケート調査結果	1 1
3. 改善事項の整理	2 3

1. カウント調査結果

(1) 週当り・日当り輸送人数

- ▶ 1週間の輸送人数は、1週目が302人、2週目が389人（29%増）。
- ▶ 平日の日当り平均輸送人数は、1週目が49.2人／日、2週目が66.2人／日。
- ▶ 土日の日当り平均輸送人数は、1週目が28.0人／日、2週目が29.0人／日。

表 週当り・日当り輸送人数

乗降調査期間	輸送人数計 人／週	日当り平均 人／日	平日計 人／5日	平日平均 人／日	土日計 人／2日	土日平均 人／日
第1週目（10月4日～10日）	302	43.1	246	49.2	56	28.0
第2週目（10月18日～24日）	389	55.6	331	66.2	58	29.0

注) 10月4日（月）は余市紅志高校休校日

(2) 日にち別輸送人数

- ▶ 第1便と第2便の利用が少ない(0~2人/便)。
- ▶ 平日は第10便、土日は第11便の利用が少ない(0~2人/便)。

表 日にち別・便別
輸送人数
(1週目)

便名	4日(月)	5日(火)	6日(水)	7日(木)	8日(金)	9日(土)	10日(日)	計
1便	1				1	1		3
2便	2	2	1	1	1			7
3便		19	13	14	13	1	4	64
4便	3	9	3	7	8		2	32
5便	5	5	5	7	9	4	9	44
6便	1	1	3	3	5	4	4	21
7便	6	5	2	6	7	12	5	43
8便	5	1	2	2	14			24
9便	1	8	11	11	11	6	3	51
10便		1					1	2
11便	2	5		2	2			11
計	26	56	40	53	71	28	28	302

表 日にち別・便別
輸送人数
(2週目)

便名	18日(月)	19日(火)	20日(水)	21日(木)	22日(金)	23日(土)	24日(日)	計
1便			2	1		2		5
2便		1	1	2	1	1		6
3便	15	14	20	29	17	4	5	104
4便	7	7	3	3	7		1	28
5便	7	5	12	4	4	6	14	52
6便	5	3	2	5	5	3	2	25
7便	7	6	3	2	16	4	3	41
8便	4	7	1	2	6	1	1	22
9便	11	12	17	22	13	4		79
10便	2			1		5	2	10
11便	4	5	2	2	4			17
計	62	60	63	73	73	30	28	389

(3) 停留所別乗降人数

① 1週目

- ▶ 「⑳余市協会病院」が72人、「㉘余市駅前」が68人、「㉙余市駅前」が58人。
- ▶ 新設停留所（◆印）では、「㉑ふじ公園前」が55人、「㉒イオン余市店前」が28人「㉓黒川15丁目」が18人。

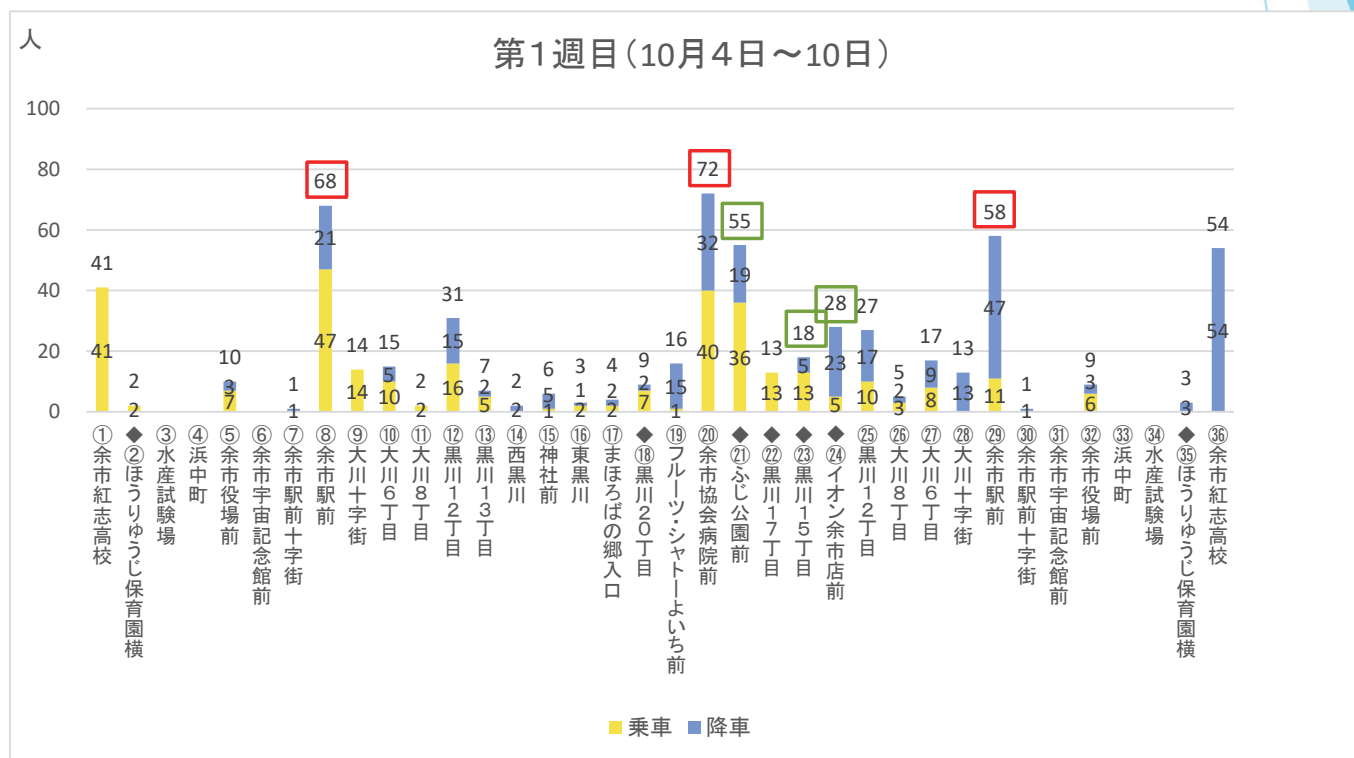


図 停留所別乗降人数

② 2週目

- ▶ 「⑳余市協会病院」が88人、「㉔余市紅志高校」が82人（登校時）、「㉑余市駅前」が77人。
- ▶ 新設停留所（◆印）では、「㉑ふじ公園前」が63人、「㉓黒川15丁目」が27人、「㉔イオン余市店前」が22人。

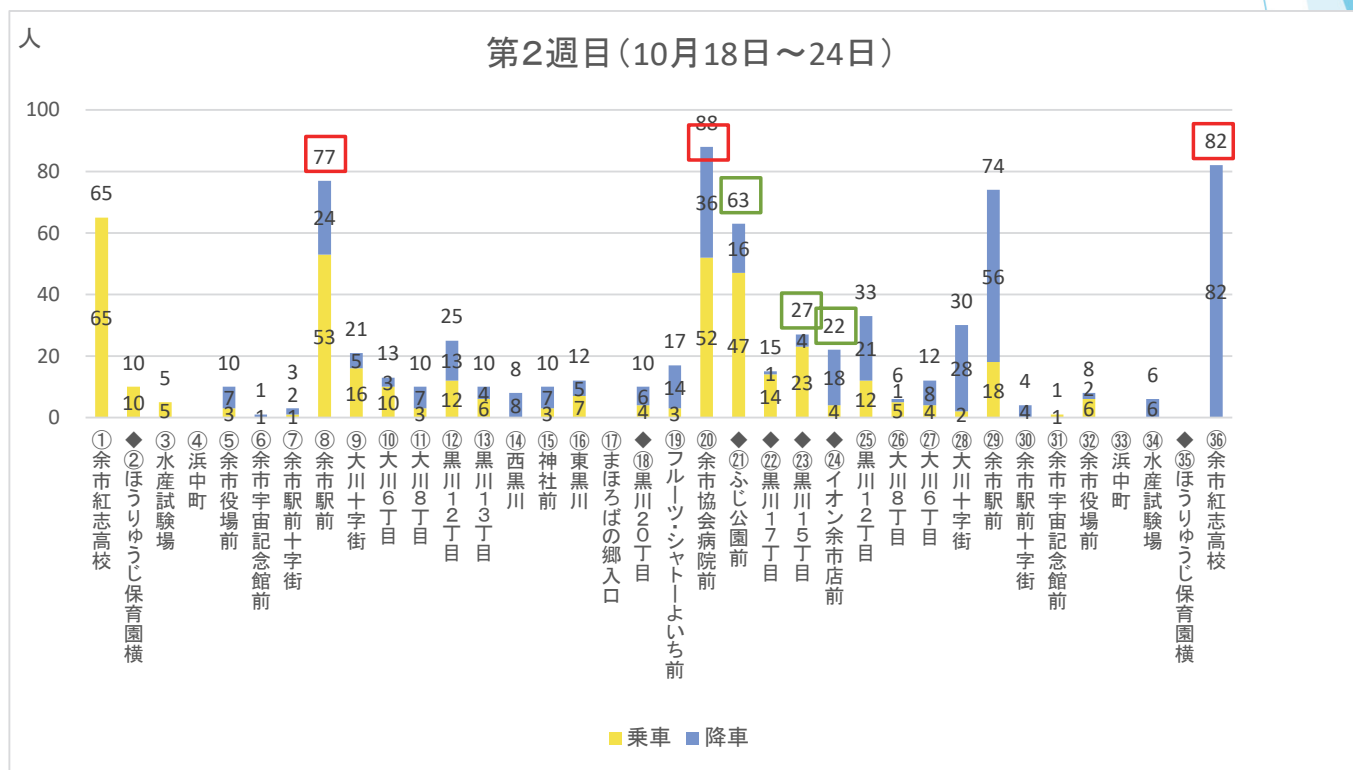


図 停留所別乗降人数

(4) 年齢層

- ▶ 1週目、2週目において「高校生」が3、4割、一般が3割、高齢者が3割程度。

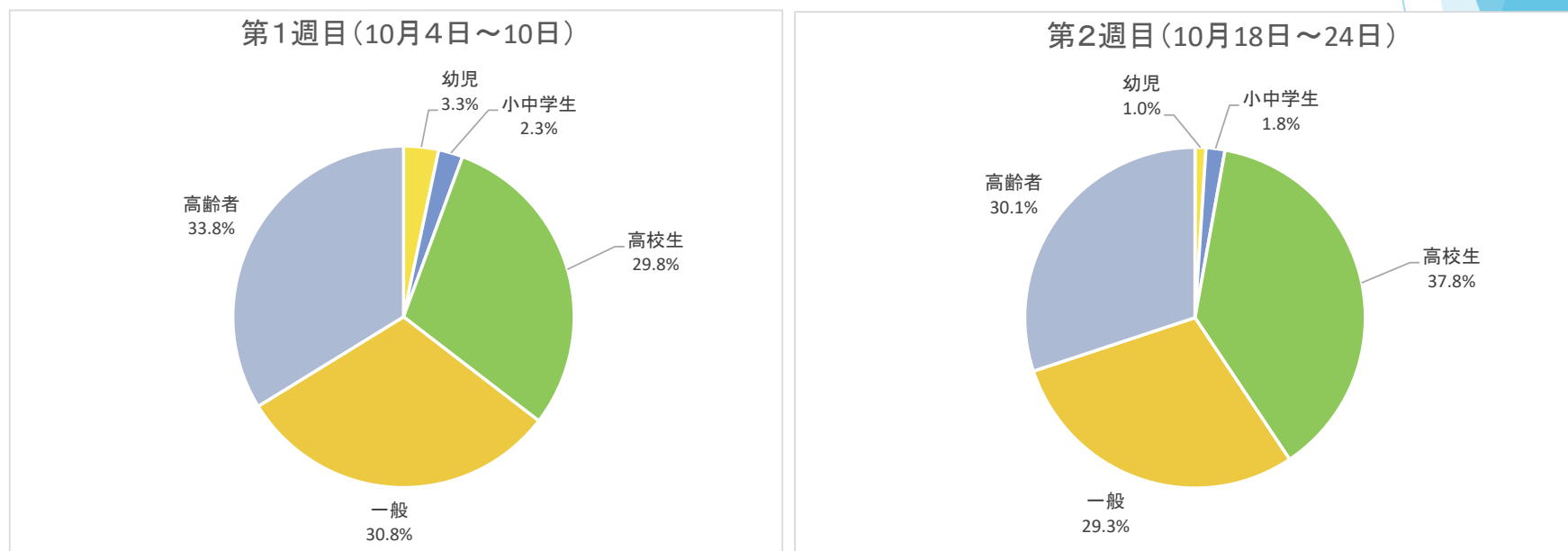


図 年齢層

(5) 性別

- ▶ 「女性」が7割強、「男性」が3割弱。

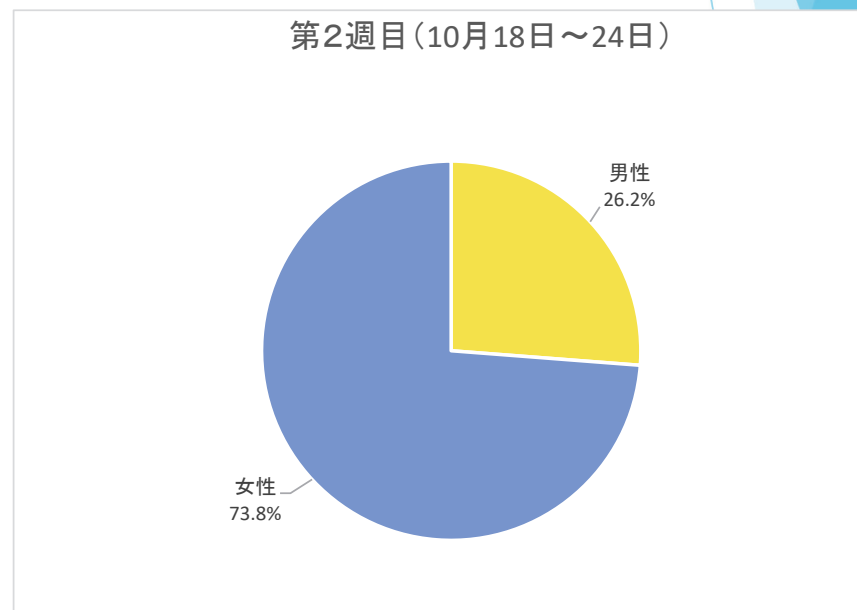
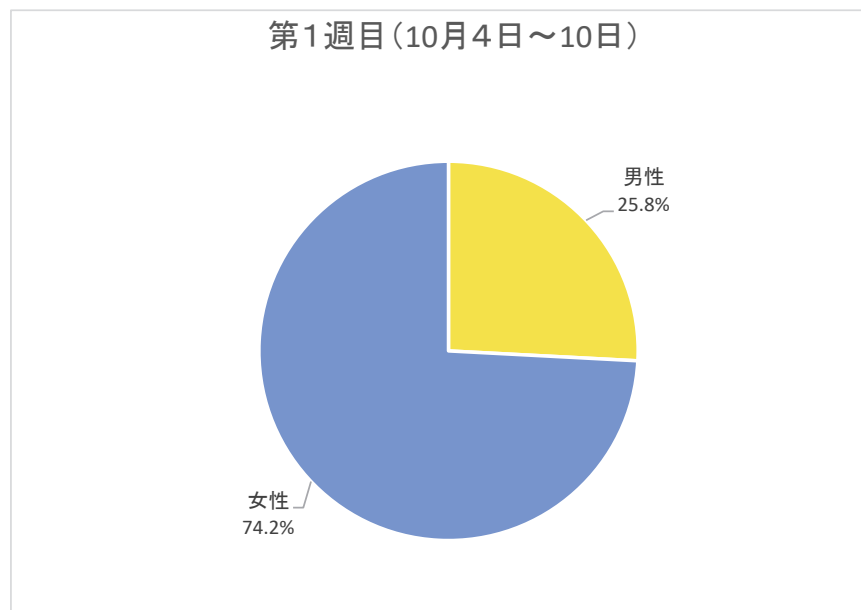


図 性別

(6) 区間人数

① 1週目

- ▶ 「⑳ふじ公園前」から「㉔大川8丁目」が100人以上。
- ▶ 上記を除く「㉑余市駅前」から「㉓余市駅前」が70～100人程度。
- ▶ 「余市駅」と「紅志高校」の間が40～50人。

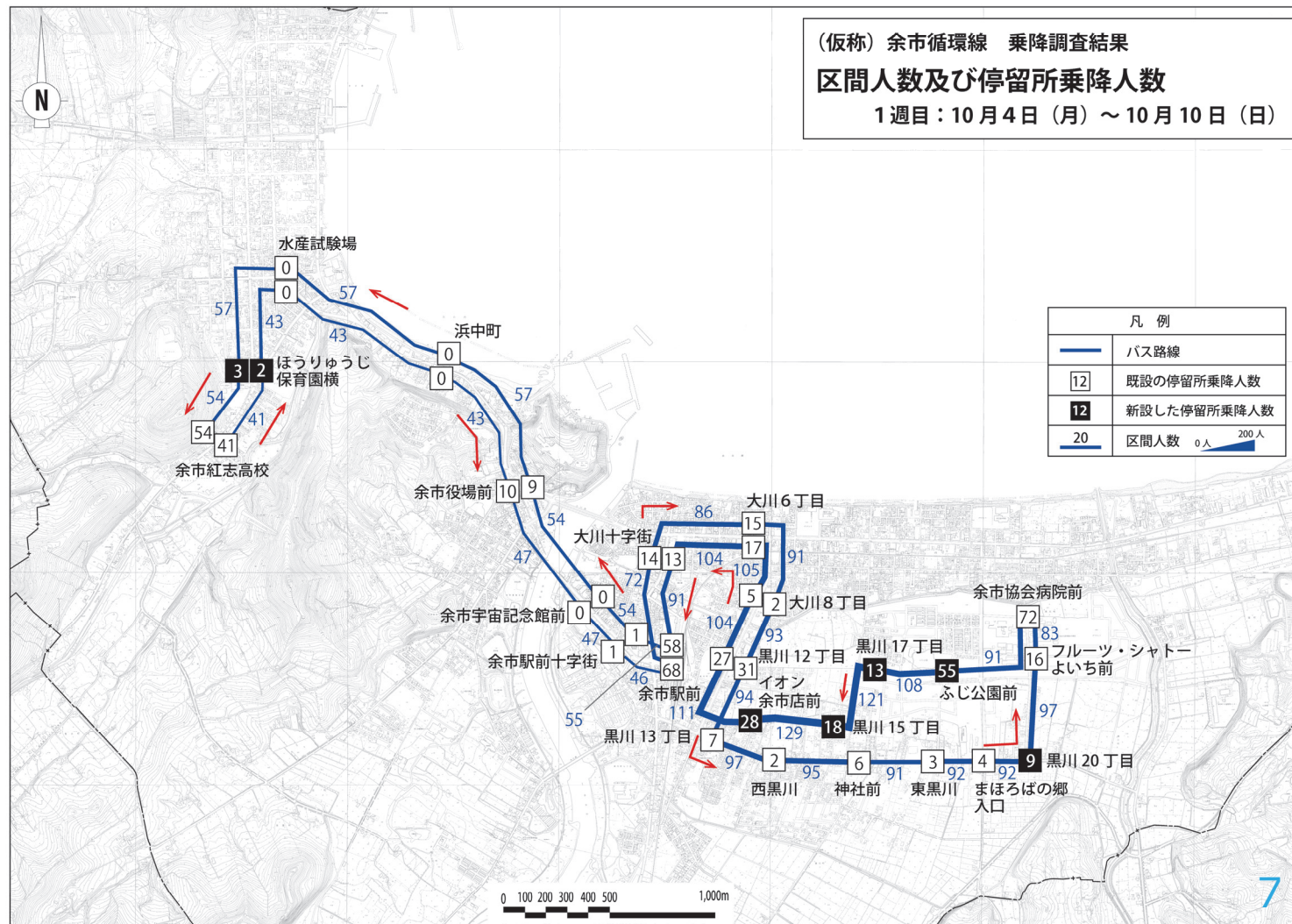


図 区間人数 (1週目計)

② 2週目

- ▶ 「②黒川17丁目」から「⑥大川6丁目」が150人以上。
- ▶ 上記を除く「⑧余市駅前」から「⑨余市駅前」が概ね100～130人程度。
- ▶ 「余市駅」と「紅志高校」の間が60～90人。

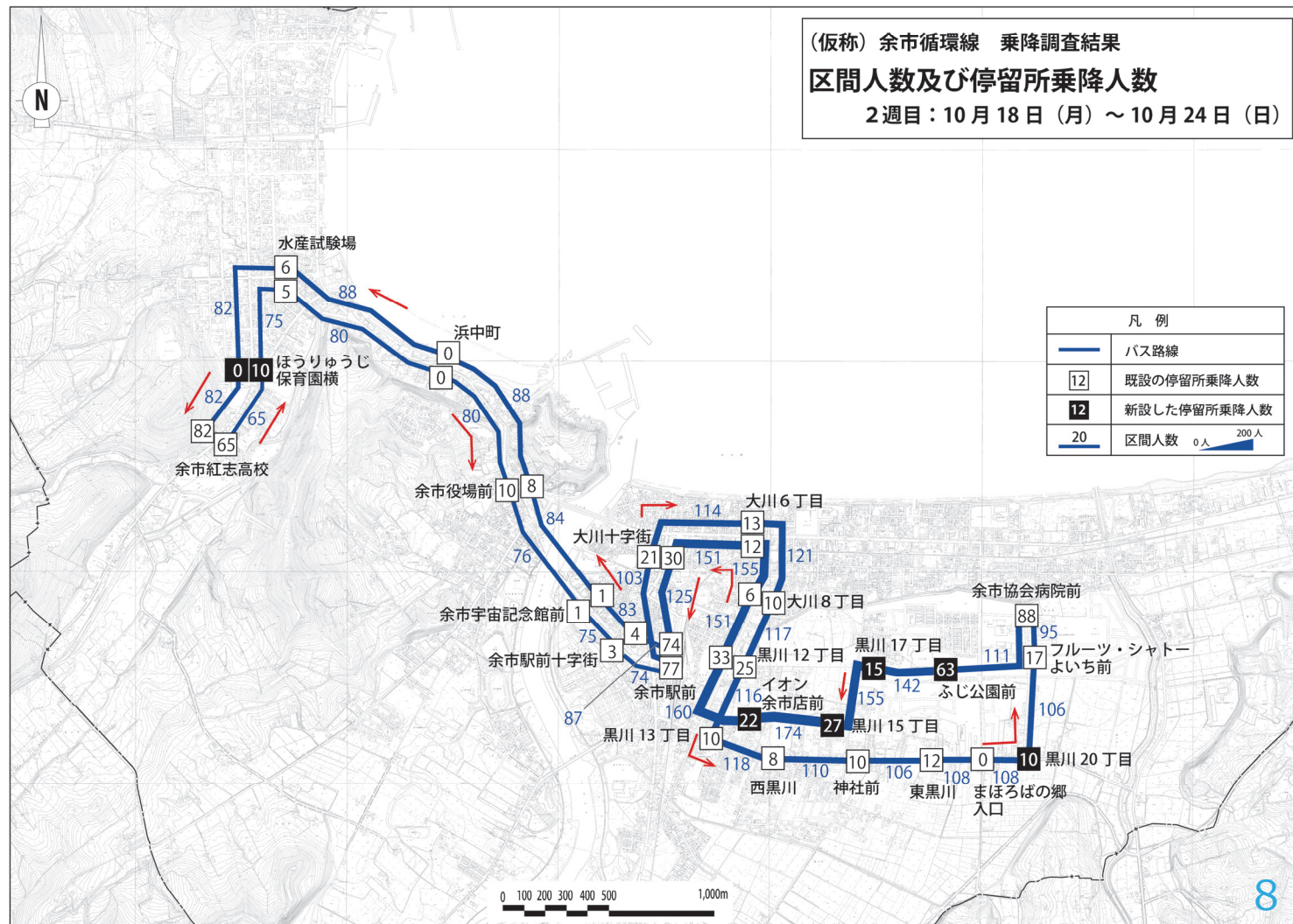


図 区間人数 (2週目計)

(7) 停留所間人数

① 1週目

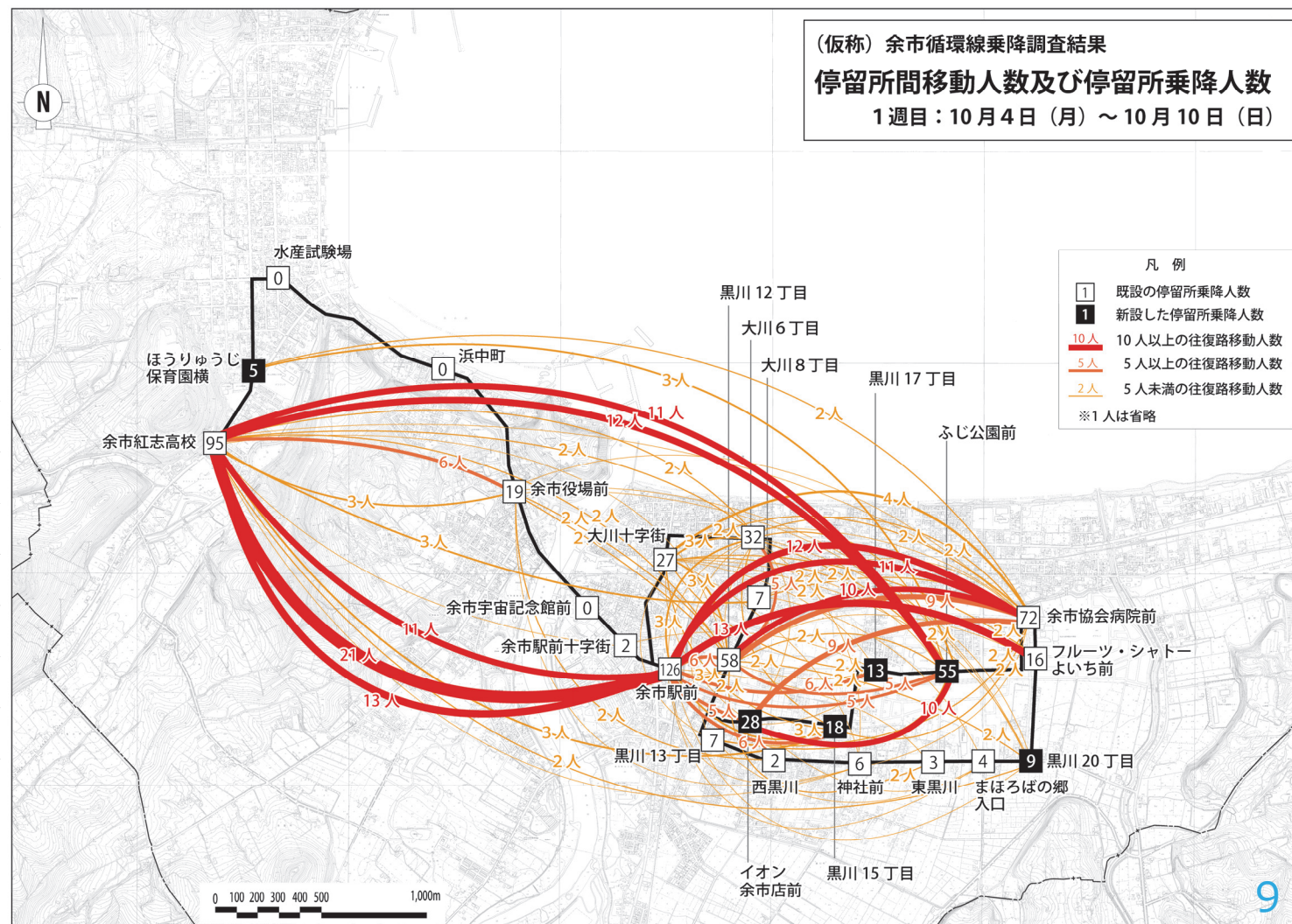
▶ 10人以上は以下のとおり。

表 停留所間人数 (10人以上)

①余市紅志高校	⇒	⑧余市駅前	21人
⑧余市駅前	⇒	⑱フルーツ・シャトーよいち前	13人
⑧余市駅前	⇒	⑳余市紅志高校	13人
⑳余市協会病院前	⇒	㉑余市駅前	12人
㉑ふじ公園前	⇒	⑳余市紅志高校	12人
①余市紅志高校	⇒	㉑ふじ公園前	11人
⑧余市駅前	⇒	⑳余市協会病院前	11人
㉑余市駅前	⇒	⑳余市紅志高校	11人
⑫黒川12丁目	⇒	⑳余市協会病院前	10人
㉑ふじ公園前	⇒	㉔イオン余市店前	10人

注) 停留所番号は、
3ページの「図 停留所別乗降人数」参照

図 停留所間人数



② 2週目

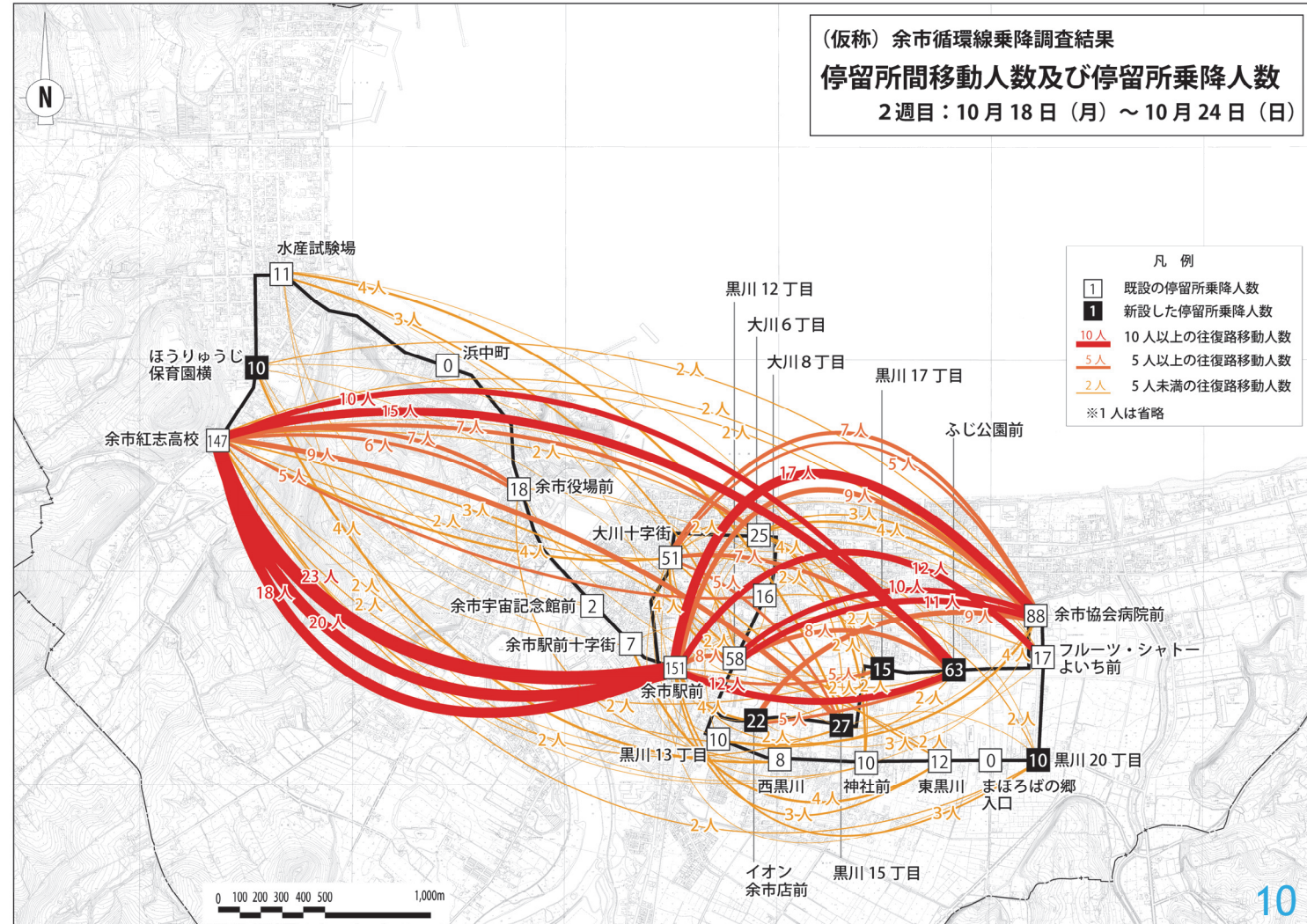
▶ 10人以上は以下のとおり。

表 停留所間人数 (10人以上)

①余市紅志高校	⇒	⑧余市駅前	23 人
⑧余市駅前	⇒	③⑥余市紅志高校	20 人
②⑨余市駅前	⇒	③⑥余市紅志高校	18 人
②⑩余市協会病院	⇒	②⑨余市駅前	17 人
②⑪ふじ公園前	⇒	③⑥余市紅志高校	15 人
⑧余市駅前	⇒	①⑨フルーツ・シャトーよいち前	12 人
②⑪ふじ公園前	⇒	②⑨余市駅前	12 人
②⑩余市協会病院	⇒	①⑫黒川12丁目	11 人
①余市紅志高校	⇒	②⑪ふじ公園前	10 人
①⑫黒川12丁目	⇒	②⑩余市協会病院	10 人

注) 停留所番号は、4ページの「図 停留所別乗降人数」参照

図 停留所間人数



2. アンケート調査結果

問1. このアンケート用紙への回答は何回目でしょうか。(一つに〇)

- ▶ 「1回目」が7割強。

問2. 性別をお答えください。(一つに〇)

- ▶ 「女性」が7割強。

問3. 「年齢」をお答えください。(一つに〇)

- ▶ 「⑧70～79歳」と「⑥50～59歳」及び⑨「80歳以上」が2割弱。

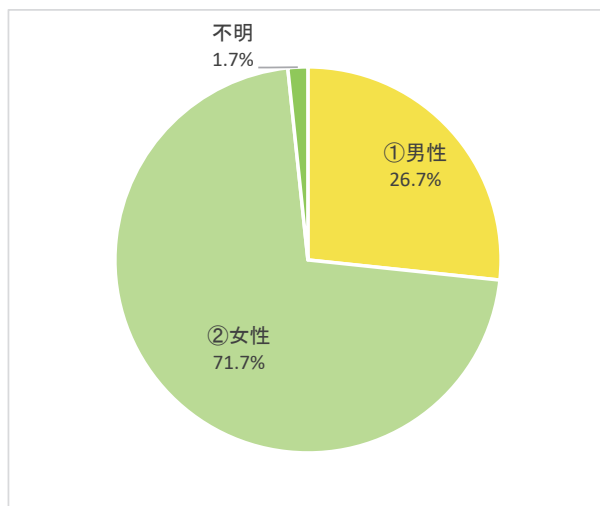


図 性別

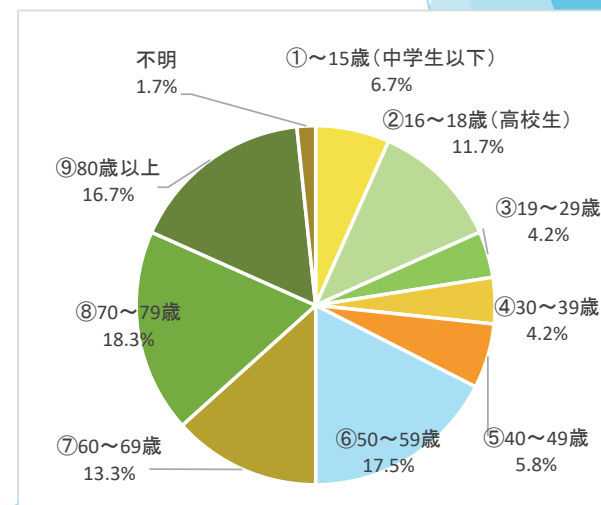


図 年齢

問4. 「お住まい」をお答えください。(一つに○)

- ▶ 「④黒川町」が6割強、「③大川町」が2割弱。
- ▶ 黒川町の丁目は、「18丁目」が26件、「17丁目」が9件。

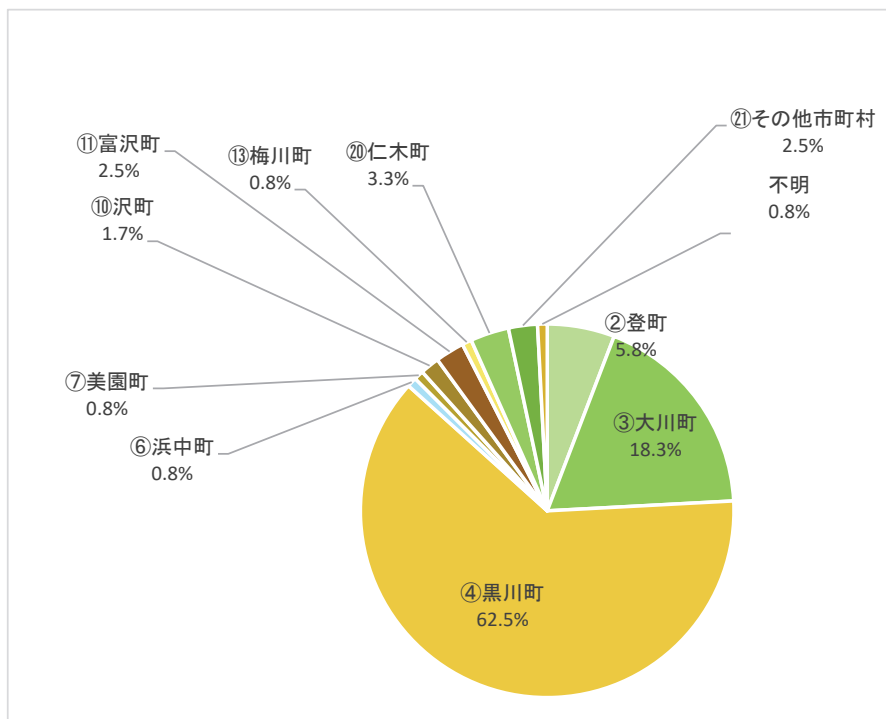


図 お住まい

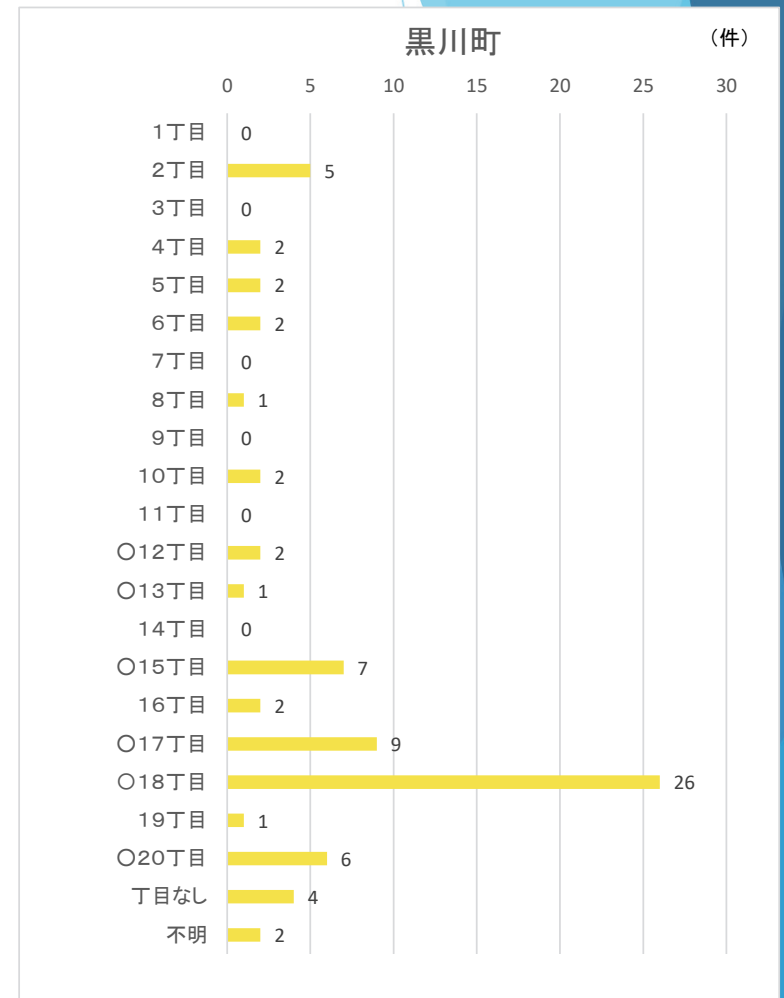


図 黒川町の内訳 (○ : バス停あり)

問5. 「実証運行前の利用交通手段」をお答えください。（二つ以内に○）

▶ 「⑥余市協会病院線」が40件、「⑤タクシー、ハイヤー」が30件、「③徒歩」が25件。

問6. （仮称）余市循環線の実証運行はどのようにお知りになりましたか。
（該当するもの全てに○）

▶ 「①広報でのお知らせ」が53件、「②試験運行パンフレット」が46件。

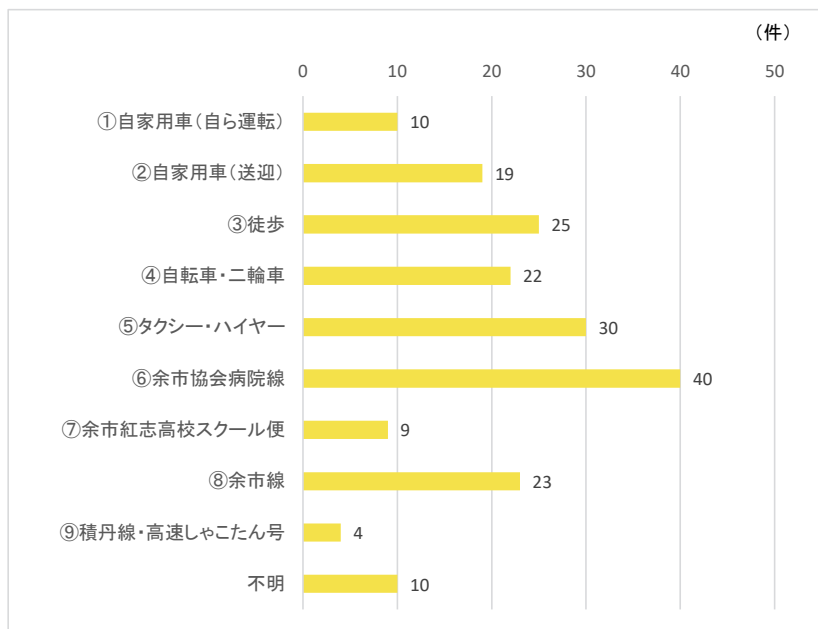


図 試験運行前の交通手段

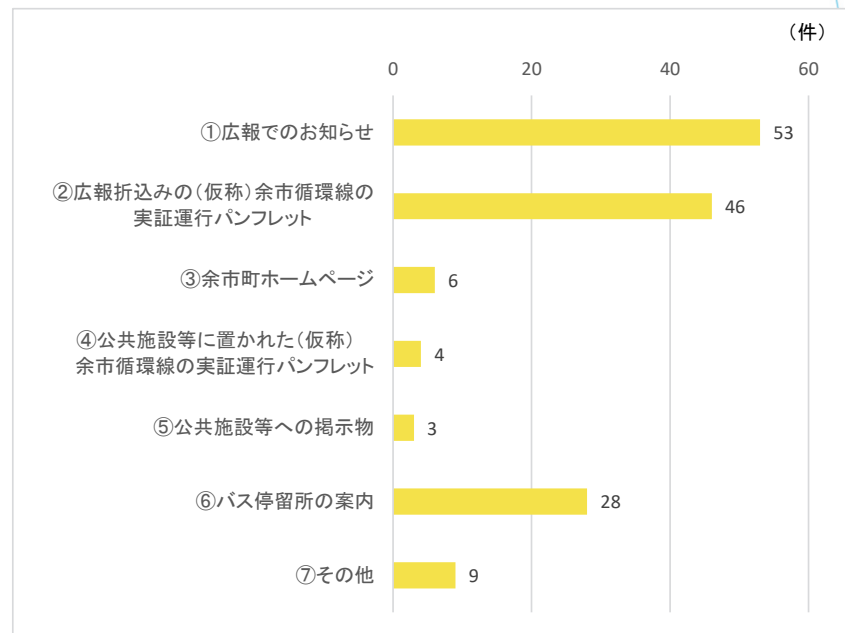


図 試験運行の周知方法

問7. 本日、ご利用した（仮称）余市循環線についてお答えください。

問7-1. 乗車停留所と降車停留所をお答えください。（ご利用した停留所に○）

▶ 「⑧余市駅前」が43件、新設の「⑳ふじ公園前」が22件、「㉑黒川12丁目」が19件。

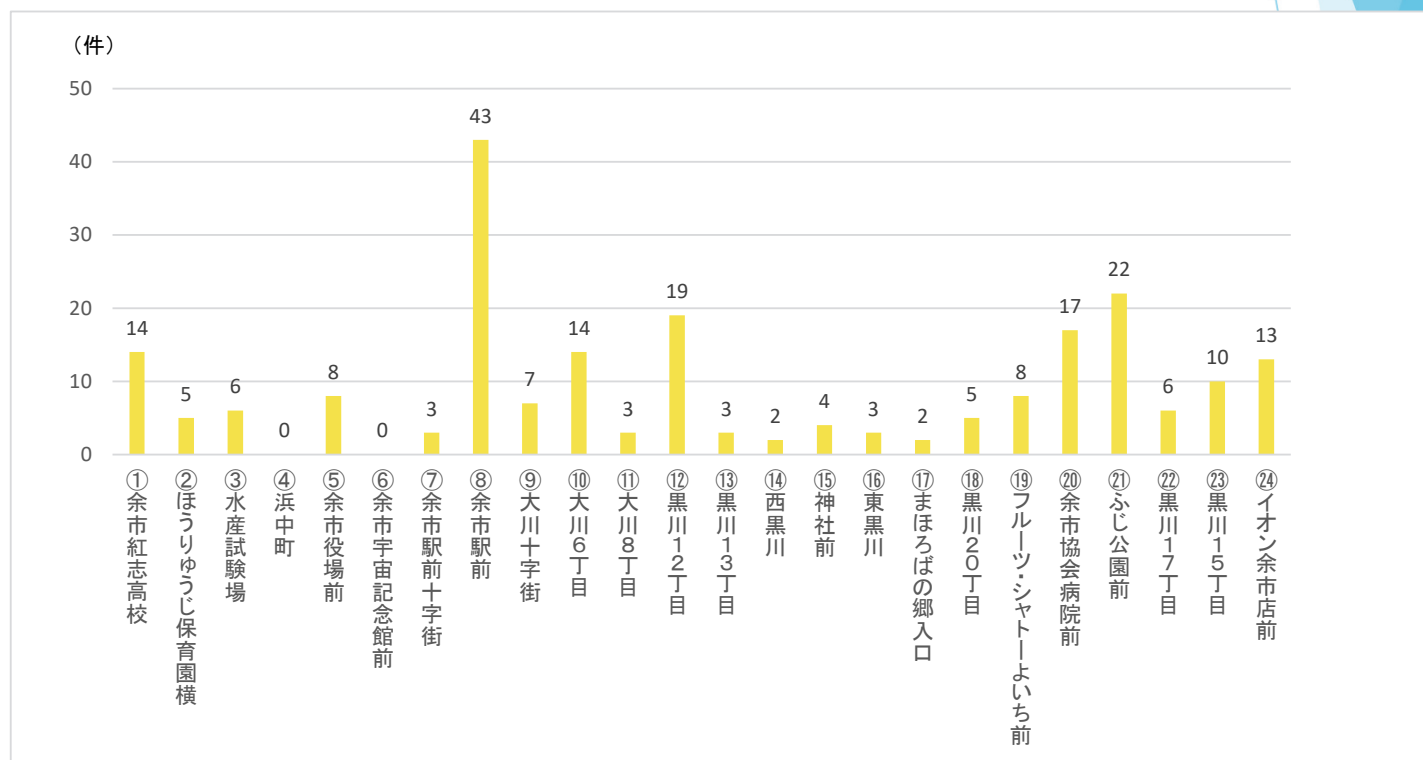


図 乗降した停留所

問7-2. ご利用した便をお答えください。(ご利用した便に○)

- ▶ 7時台の「第3便」が29件、13時台の「第7便」が21件、9時台の「第5便」が19件。

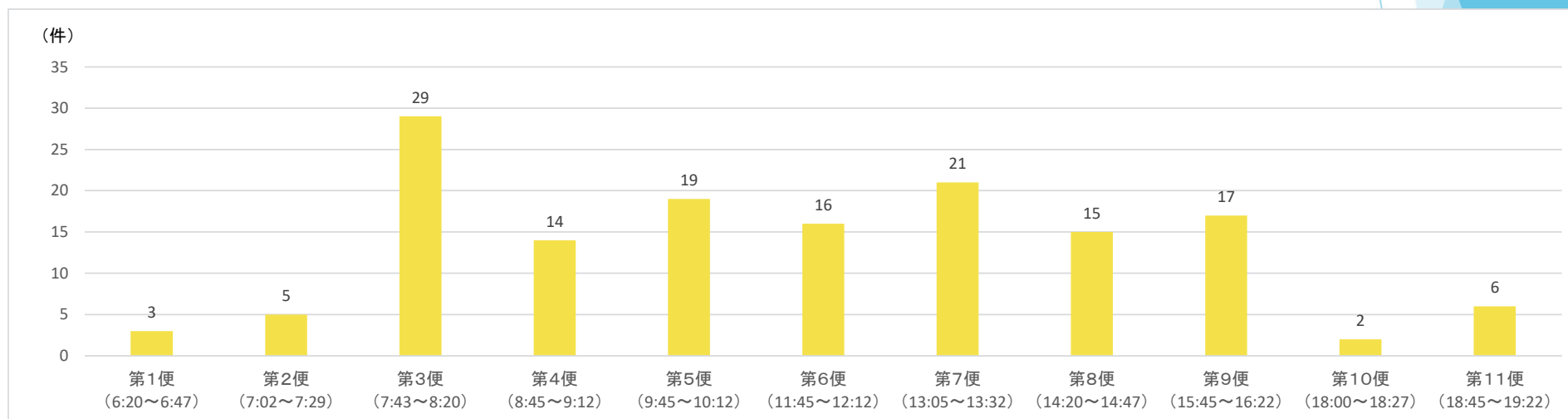


図 利用した停留所 (行き・帰りとも)

問7-3. (仮称) 余市循環線の利用頻度(予定を含む)をお答えください。

- ▶ 「④週に1, 2日」が3割強、「③週に3, 4日」が2割強、「⑤月に数回程度」が2割。

問7-4. 主なご利用の目的をお答えください。(一つに〇)

- ▶ 「③通院・治療」が3割弱、「①通勤」が2割強、「④買物・飲食」が2割。

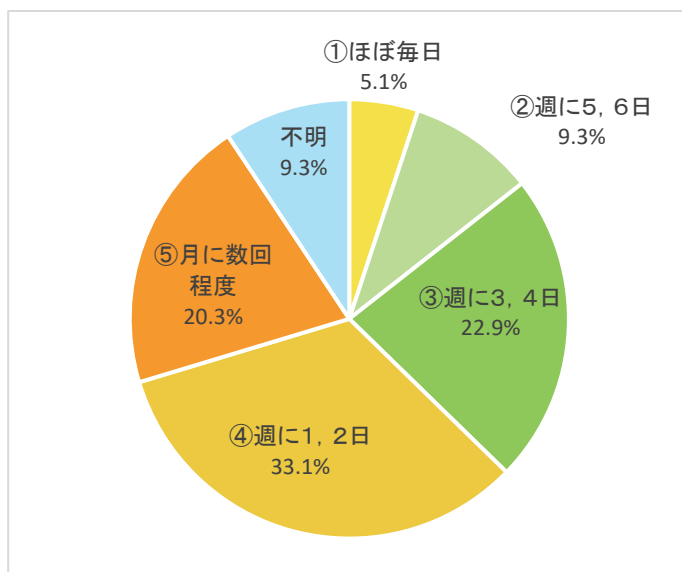


図 利用頻度

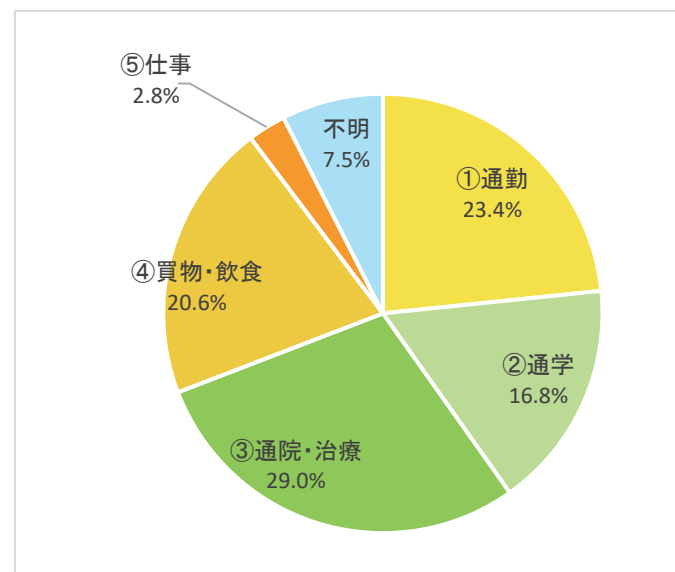


図 利用目的

問7-5. 目的地はどこかお答えください。(該当するもの全てに○、あるいは必要事項を記載)

▶ 「⑧イオン余市店」が29件、「③余市駅」が25件、「⑥余市協会病院」が23件。

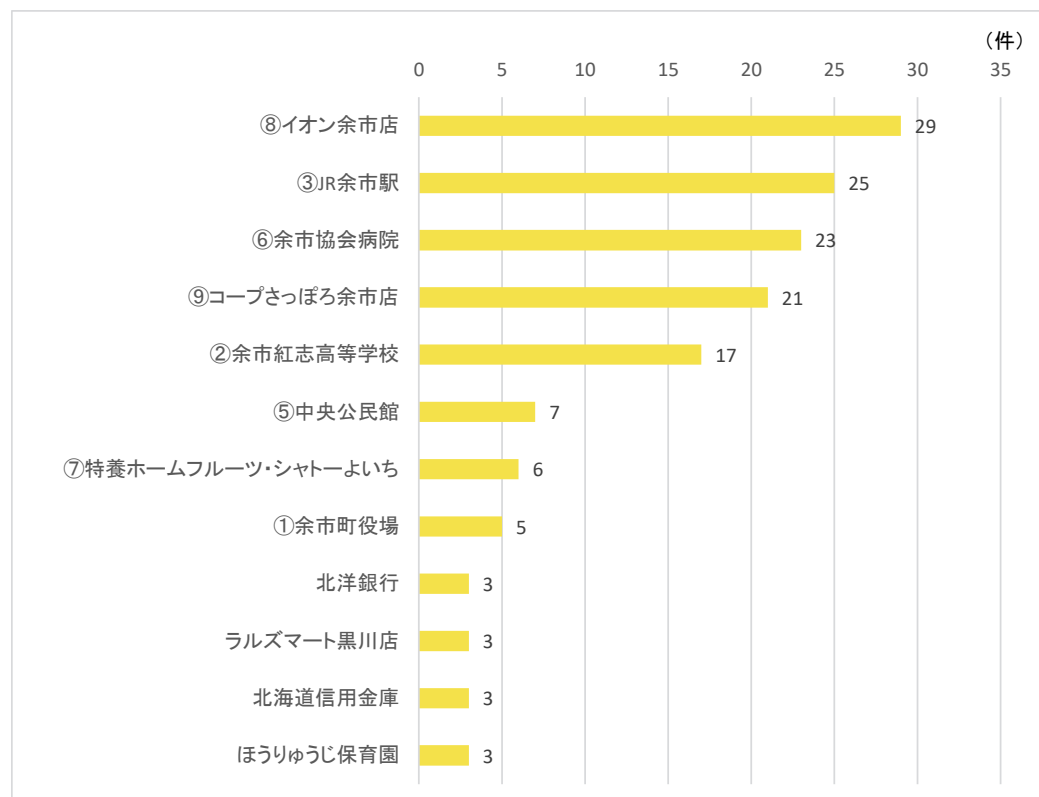


図 目的地

問8. 本日、停留所「余市駅前」等で乗継いで余市町外へ行かれる方
(余市町外から来られる方)への質問です。

- ▶ 「乗継ぎなし」が7割強、「乗継ぎあり」の3割弱。

余市町と余市町外の移動で使われた交通手段をお答えください。(一つに〇)

- ▶ 「①JR」が18件、「③中央バス高速いわない号」が8件、「②中央バス余市線」が5件。

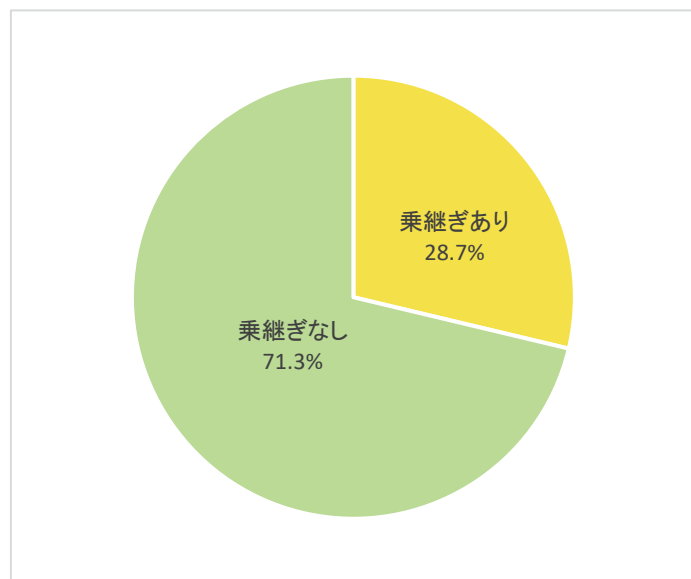


図 乗継ぎの有無

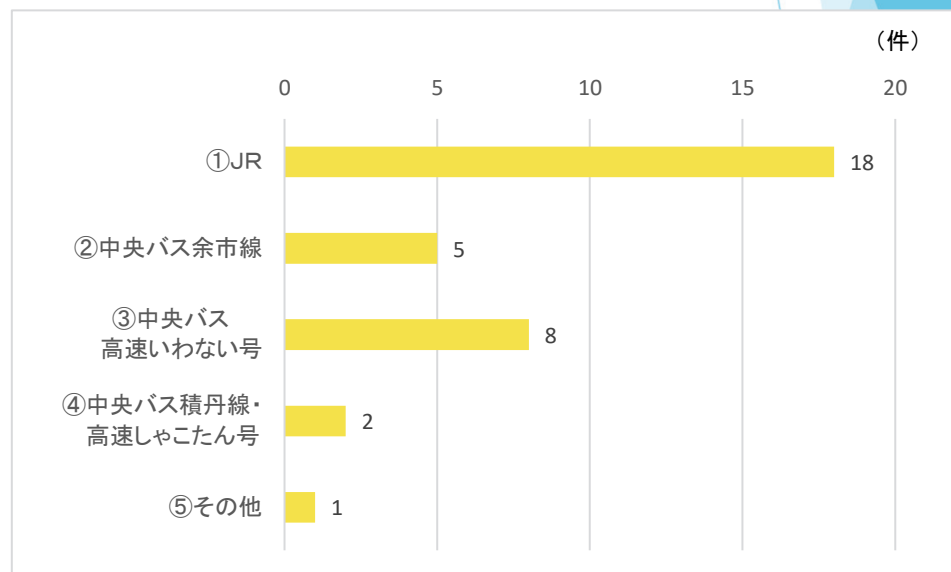


図 乗継ぎ交通手段

問8-2. 「問8」でお答えの交通手段について、余市駅等の乗り継ぎ時刻をお答えください。

▶ 余市駅発、余市駅着とも「①7時台」が最も多い。

問9. (仮称) 余市循環線の運行内容から妥当と考える最大の運賃をお答えください。
(一つに〇)

▶ 「③200円」が5割。

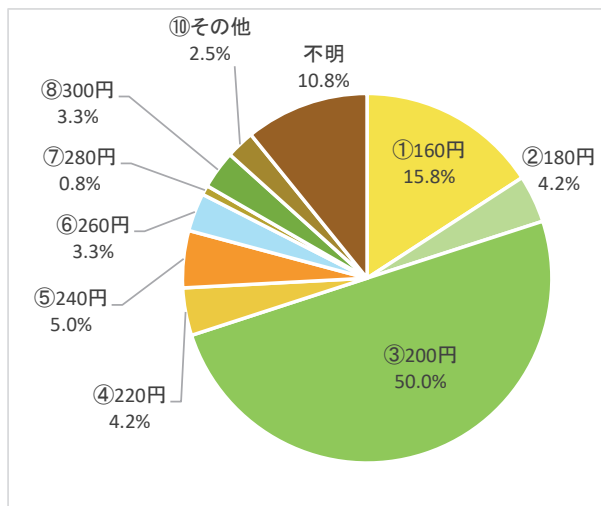


図 乗継ぎ人数 (余市駅発)

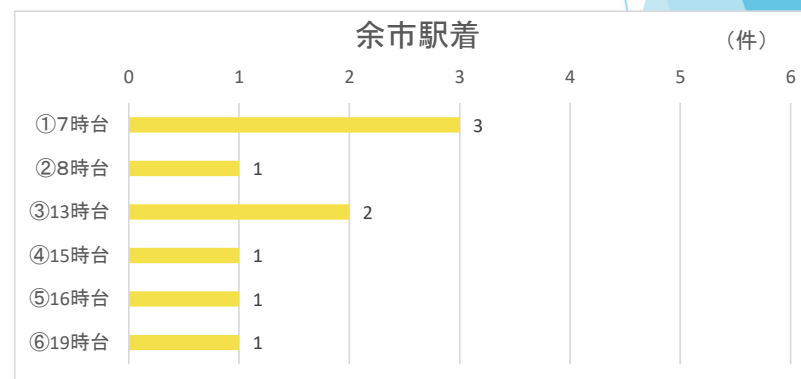


図 乗継ぎ人数 (余市駅着)

問10. 今回の試験運行の満足度についてお答えください。

- ▶ 「②便数の多さ」以外は、「普通～満足の合計」が9割程度を占める。

問11. 余市協会病院線と比較していかがでしょうか。

- ▶ 全ての項目において「普通～満足の合計」が概ね8割以上を占める。

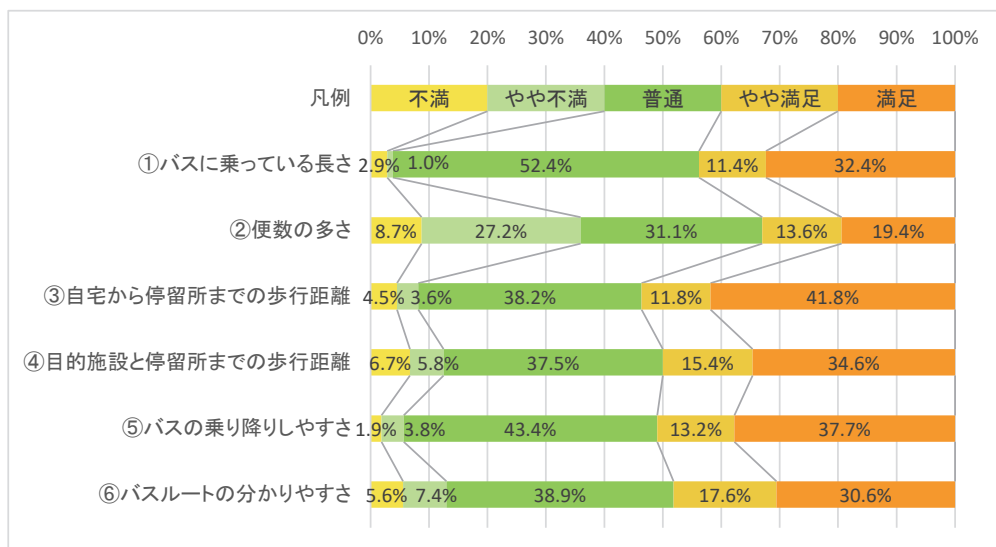


図 試験運行の満足度

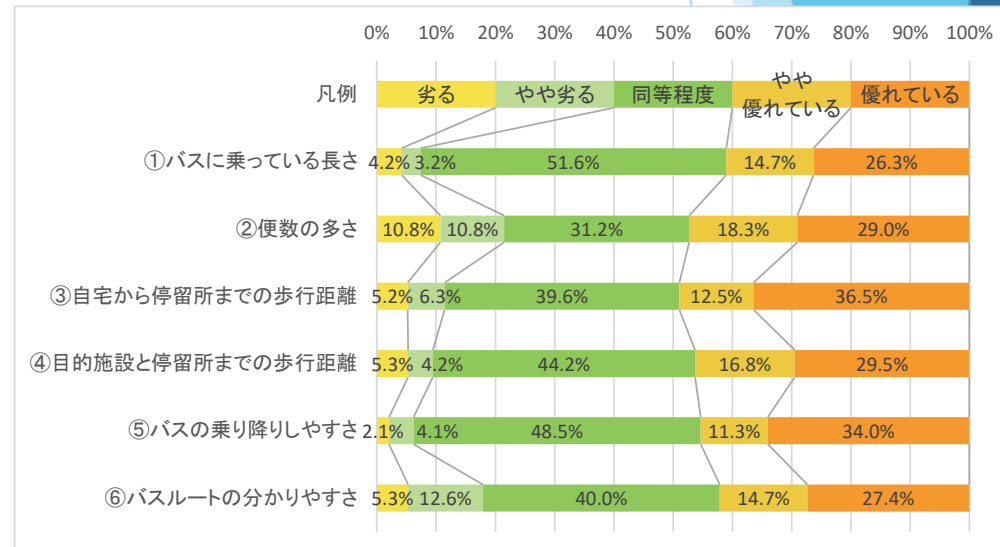


図 余市協会病院線との比較

問 1 2. 運行便数の多さが「不満」、「やや不満」、
あるいは余市協会病院線と比較して「劣る」、
「やや劣る」をお答えの方への質問です。
何時台の運行をご希望でしょうか。(二つ以内に○)

▶ 運行が無かった「⑪15時台」と「17時台」が多い。

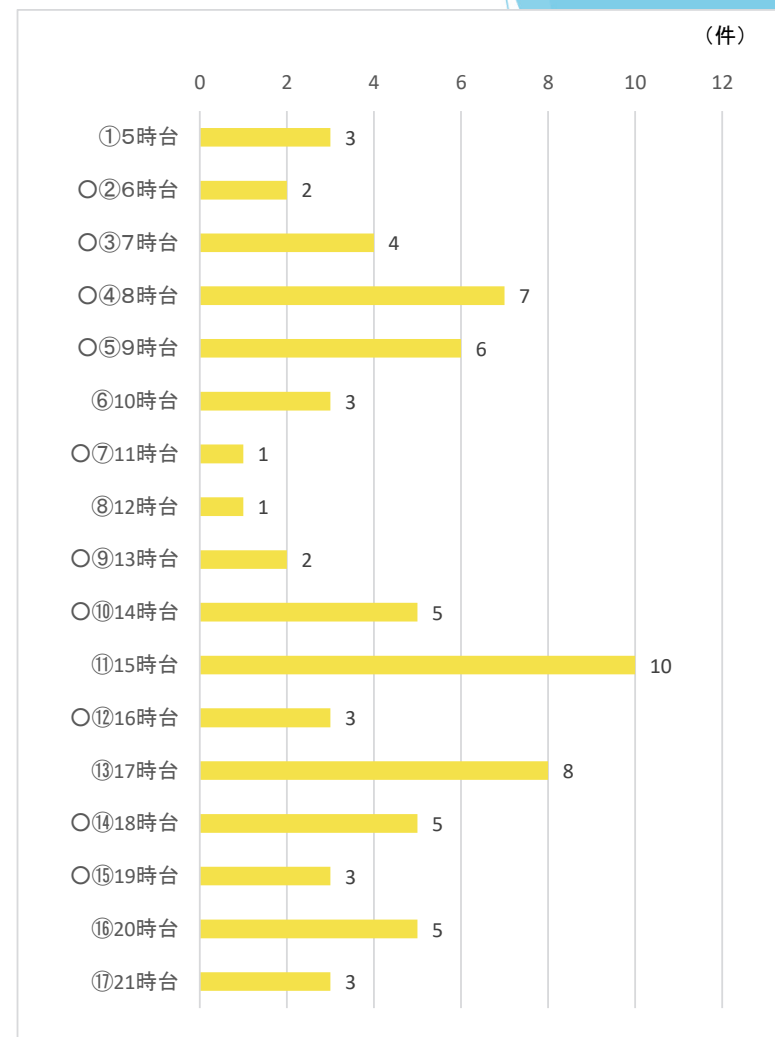


図 希望の運行時刻 (○ : 運行した時間帯)

問13. その他、(仮称)余市循環線についてご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。

▶ 肯定的な意見 (16件)

- ・ 続けて欲しい (6件)
- ・ 雨天や冬期の運行に期待している (4件)
- ・ 停留所が近くなった (4件)
- ・ 駅から歩かずにすむようになった
- ・ 余市紅志高校の18時台の便はありがたかった

▶ 否定的な意見 (6件)

- ・ 乗り換えが面倒 (3件)
- ・ タクシーを皆で乗り合っている協会病院に行っている
- ・ 不便です
- ・ 早くもとに戻して欲しい

▶ 改善の要望 (24件)

- ・ 病院に行くために余市紅志高校からの便が増えると良い (7件)
- ・ 増便して欲しい (6件) : 1時間に1本 (2件)、17時台の運行
- ・ 運行時刻を調整して欲しい (4件) : 7時台、16時台、18時台
- ・ 役場まで行って欲しい
- ・ 停留所に表示する時刻表を分かりやすくして欲しい
- ・ 乗り換えしても高くない運賃設定にして欲しい
- ・ ステップが高い
- ・ 今のルートの反対周りをつくって欲しい
- ・ 大川郵便局の前を運行して欲しい
- ・ 山田町周辺を運行して欲しい

3. 改善事項の整理

- A. 通勤、通学利用に関しては目的を達成
- B. 輸送人数の増加
- C. 適切な運行時刻の設定
- D. 新設したバス停留所の本設置
- E. 利用者にとって妥当な運賃設定
- F. タクシー事業の収益維持
- G. 広報等による運行周知
- H. 本格運行への移行

A. 通勤、通学利用に関しては目的を達成

- ▶ (仮称) 余市循環線の運行は通院・買物目的が主の余市協会病院線に加え、通勤・通学目的に対応することにより、安定的な収益を確保することを目的としている。
- ▶ アンケート調査結果からは通勤・通学目的が4割となっているため、この点においては目的を達成している。

B. 輸送人数の増加

- ▶ 利用者数が余市協会病院線の半数に留まっている。

余市協会病院線の年間輸送人数：R1が28,703人、R2が21,865人

389人(本乗降調査2週目) × 52.14週/年 = 20,282人/年 ⇒ R1の71%、R2の93%

- ▶ 利用者数が少ない原因は、余市駅まで乗継いで余市協会病院へアクセスしていないことが考えられる。

平成29年の余市協会病院線の乗降調査では、余市駅を跨いだ利用が全体の58.7%

(54/92人)、余市駅よりも西側にお住まいの方の利用が50.0% (52/104人) に対し、

本アンケート調査は6.7%に留まる。(8/120人)

- ▶ 余市協会病院線の利用者が（仮称）余市循環線へ利用に移行するために、以下の改善が必要である。

- ①余市協会病院に通院される方にとっても、乗り降りしやすい車両への更新
- ② J R 小樽方面との乗継ぎを考えながら、中央バス古平方面との乗継ぎに合わせた運行時刻の修正
- ③古平方面とのバス乗継ぎ案内を強調したバス時刻表の作成
- ④中央バス古平方面との乗継ぎにおいて、割高とならない料金設定
- ⑤余市紅志高校～余市駅前区間の増便（高校臨時下校にも対応検討）

C. 適切な運行時刻の設定

- ▶ 第1便と第2便の利用が少ないため、この2つの便を一本化するなど、効率的な運行時刻を設定する必要がある。
- ▶ 余市紅志高校の登校について、余市紅志高校スクール便の令和元年度のバス乗降調査では20人程度（東大浜中～旭中学校を除く）であったが、試験運行では13～20人とやや減少しており、この原因はJ Rとの乗継ぎの待ち時間が長いことが考えられるため（7:39余市駅着⇒8:10余市駅前発：31分待ち）、適切な運行時刻の設定が必要である。
- ▶ アンケート調査において、15時台、17時台の要望が多いため、増便の検討が必要である。

D. 新設したバス停留所の本設置

- ▶ 本試験運行では7箇所停留所を新たに設置したが、特に「㊸ふじ公園前」の利用が多く、他の停留所においても利用者がいるため、本設置への移行が妥当であると考えられる。
- ▶ 停留所への休憩施設の設置要望が、アンケートとは別に多数寄せられている。

E. 利用者にとって妥当な運賃設定

- ▶ アンケート結果からバス運賃は200円として設定することが考えられる。
- ▶ ただし、前述のとおり古平方面との乗継ぎ運賃に配慮することが必要である。

F. タクシー事業の収益維持

- ▶ 試験運行前の交通手段はタクシーの利用が第2位となっているが、一方で試験運行中は乗り換えが面倒なので、タクシーを乗り合って使用している状況もある。
- ▶ 仮に試験運行によりタクシー事業に影響がある場合、網形成計画において次年度から検討を進める郊外部公共交通において、乗合タクシーなどでの対応を含めた検討により、タクシー事業の収益を維持していくことが考えられる。

G. 広報等による運行周知

- ▶ 広報、広報折込みのパンフレット及びバス停留所での案内により、試験運行の実施と内容を周知することができたため、本格運行等においても引き続き同様の方法により周知を行うことが必要である。

H. 本格運行への移行

- ▶ 試験運行の満足度の内、運行便数については「不満」と「やや不満」が3割強となっているものの、「普通」以上が6割強となっている。
- ▶ 「余市協会病院線」との比較においては、いずれの項目においても「普通上」が概ね8割以上となっている。
- ▶ アンケートの自由意見からも否定的な意見よりも、肯定的な意見と改善の要望を求める意見が大きく上回っている。
- ▶ 以上から、運行形態としては妥当であると考えられるため、前述の改善内容を反映させたくうえで、本格運行への移行を進めることとする。